

I n v i t a t i o n

藤枝市 市勢要覧2026



Promotion Website of Fujieda City 【藤枝市プロモーションWEBサイト開設】



本誌(市勢要覧)に掲載している
内容や市政情報について
より詳しく紹介しています。
ぜひご覧ください。

Contents

ほどよく、田舎。ほどよく、都会。	03
フジエダノココ	04~07
フジエダノブンカ	08~11
フジエダノグルメ	12~13
藤枝の魅力を、あなたのもとへ	14
ふじえだ四季折々	15
第6次藤枝市総合計画【後期計画】	16~19
藤枝の歴史	20~21
藤枝市について	22~23



JR 藤枝駅南口



ほ
ど
よ
く



Bivi 藤枝

駅周辺イルミネーション

都
会
。



フジエダ ミキネ
FUJIEDA mikine

藤枝駅前一丁目9街区再開発事業



びく石山静かな夜のキャンプ場

道の駅「玉露の里」

田
舎
。



大旅籠柏屋

おれっぴ大久保グラススキー場



蓮華寺池公園

藤枝市を代表する、「花・水・鳥・笑顔」がテーマの公園。藤まつりや花火大会、花回廊イルミネーションなど、四季を通じて多くの人々が集う憩いの場所です。





道の駅
ゆとりえせとや

道の駅「ゆとりえせとや」

陶芸をはじめとするアートにより中山間地域の活性化を図る
「ふじえだ陶芸村構想」の拠点施設として令和8年4月に開駅。
陶芸センターや温泉施設、農産物直売所など、来訪者が
「ものづくり」「天然温泉」「食」「交流」を一度に楽しめる空間を兼ね備えています。



ゆらぼ〜



陶芸センターでの陶芸体験



農産物直売所ちよっくら



天然温泉「瀬戸谷温泉ゆらく」



① 瀬戸川河川敷の桜トンネル
(3月下旬～4月初旬頃)



② 岡部町殿のコスモス畑
(10月初旬～下旬頃)



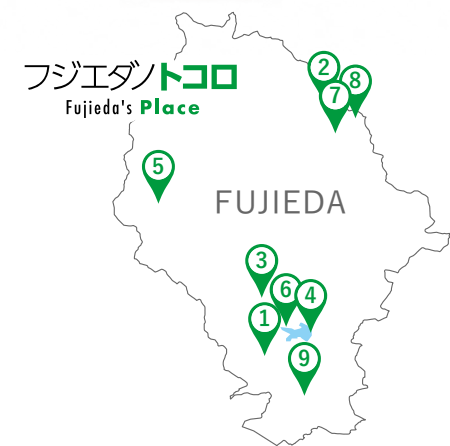
③ 藤枝総合運動公園周辺のメタセコイア
(11月下旬頃)



④ 蓮華寺池公園のハス
(6月下旬～9月上旬頃)



⑤ 滝ノ谷不動峽の紅葉
(11月下旬頃)





⑥ 藤枝花火大会
(8月7日“花火の日”)



⑦ 岡部町村良の手筒花火
(8月中旬頃)



⑧ 柏屋の竹あかり
(10月中旬～11月初旬頃)



⑨ ルミスタ★ふじえだ
ファンタジックイルミネーション
(11月中旬～2月中旬頃)

季節の見どころ

季節を告げる花々と、夜を照らす光のイベントの数々。
その時期にしか見られない光景が、市の一年を彩っています。

フジエダ**トコロ**
Fujieda's **Place**



全国PK選手権大会 in Fujieda



©2026 FUJIEDA MYFC



藤枝東高校



全国eスポーツサッカー選手権in藤枝



藤枝順心高校

サッカー

フジエダノブンカ
Fujieda's Culture

大正13年(1924年)に志太中学校(現・藤枝東高校)の校技として導入され、この街を代表する文化に昇華したサッカー。

プロサッカークラブ・藤枝MYFCのホームタウンであるほか、全国PK選手権大会やeスポーツサッカー選手権大会など、年代や性別、クラスを問わず、様々な形で取り組まれています。



藤枝市役所サッカー部



樹齢300年を超える「大茶樹」での茶摘み

藤枝茶

フジエダノブンカ
Fujieda's Culture

日差しが柔らかで昼夜の寒暖差が大きい本市は、玉露の日本三大産地の一つである朝比奈地区をはじめ、銘茶の産地として知られています。また、「藤枝ジュニアお茶博士」など、幼い頃からお茶に親しむ取り組みも数多く行っています。



呈茶を行う「藤枝ジュニアお茶博士」



ティーテラス市之瀬(瀬戸ノ谷)





飽波神社大祭の奉納踊り



藤枝大祭り

300年以上の歴史を誇る、志太地域随一の祭事。
 3年に一度、14区による屋台の曳き廻しと日本一の長唄による
 地踊りが3日間にわたり披露されます。



あ さ ひ な お お り ゆ う せ い
朝比奈大龍勢

岡部町朝比奈地区で2年に一度開催される伝統行事。
各地域に「連」と呼ばれるグループがあり、
それぞれに伝承されている手法で作りに上げる花火「龍勢」を、
秋空に打ち上げる本市の風物詩の一つです。

フジエタ
ン
ブシカ
Fujieda's
Culture





① 藤枝朝ラーメン



② 瀬戸谷コロッケ



③ せとやのかき氷



フジエダノグルメ Fujieda's Gourmet

① 藤枝朝ラーメン

朝一番の茶仕事を済ませた藤枝人が食べたことから生まれた本市独自の食文化。醤油ベースであっさりとした味の中華そばを、温と冷の2杯セットで食べることが通とされています。

② 瀬戸谷コロッケ

瀬戸谷地区特産のシイタケをたっぷり使用した特製コロッケ。「おれっぶ大久保」、「キッチンせとや」、「道の駅『ゆとりせとや』」の3カ所で異なる味のコロッケを販売しています。

③ せとやのかき氷

瀬戸谷地区にある施設などで販売される、地元の特産を使用した夏季限定の逸品。それぞれのこだわりをお楽しみください。



④ 藤里梨

ふじさとなし
④ 藤里梨

藤枝市を含む志太地域は、古くから梨の生産が盛んな場所でした。柔らかく、糖度が高くてみずみずしいことが特徴である本市のブランド梨「藤里梨」は、7月下旬頃から食べ頃を迎えます。

⑤ 藤枝の地酒

質の良い地酒が多い静岡県の中でも、澄んだ水と米づくりに適した土地に恵まれている藤枝市。現在でも4つの酒蔵が操業し、それぞれ独自の手法とこだわりで、品質の高い銘酒を生産し続けています。

⑥ お茶スイーツ

本市の特産品であるお茶を使用し、市内茶商や製菓店が趣向を凝らしたスイーツを販売しています。香りや彩りが詰まったスイーツでも、藤枝のお茶を楽しんでみませんか。



⑤ 藤枝の地酒



⑥ お茶スイーツ





藤枝の魅力を、あなたのもとへ ～ふるさと納税の品々～

本市の特産品や市内事業所の商品など、バリエーションに富んだ返礼品の数々をご用意しています。いただいた寄附金は、子育て支援の充実やまちづくりの推進、都市基盤の形成など、ご指定の使いみちに沿って活用します。



藤枝市ふるさと納税
PR課長「ふーじー」

※発行時点の情報に基づいて掲載しています。
法令や制度などの変更により、今後返礼品の
内容などに変更が生じる場合があります。



詳しくはこちら

ふじえだ 四季折々

桜や藤が咲き誇り、茶畑が太陽を浴びてきらきらと輝く春。
気品あふれる蓮の花が開き、夜空が無数の花火に染まる夏。
何百年と続く伝統行事と燃えるような紅葉がまちを彩る秋。
星冴ゆる藤枝に、光あふれるイルミネーションが煌めく冬。

主な行事

春

- ふじえだマラソン
- かしばやのひなまつり
- 金比羅山・瀬戸川桜まつり
- 藤まつり
- おれっぴ大久保ぐりーんぐりーんまつり
- 全国PK選手権大会 in Fujieda

夏

- おれっぴ大久保サマーフェスティバル
- 藤枝花火大会
- 稲葉のとうろん
- おかべあかり展

秋

- 藤枝大祭り(3年毎)
- 朝比奈大龍勢(2年毎)
- 柏屋の竹あかり
- 滝ノ谷不動峡もみじまつり
- 田中城下屋敷 藤枝菊花展

冬

- ルミスタ★ふじえだ～ファンタジックイルミネーション～
- 蓮華寺池公園花回廊イルミネーション
- スポーツ&健康フェスタinふじえだ
- 藤枝リパティ 駅伝



東海地区最大級といわれる桜トンネル 金比羅山・瀬戸川桜まつり

瀬戸川左岸堤は2kmにわたる桜トンネルが続きます。ソメイヨシノが約1,000本植えられており、金比羅山と瀬戸川周辺は辺り一面ピンク色の世界が広がります。

- 3月下旬～4月上旬
- 📍 金比羅山、瀬戸川周辺



市の花フジのお祭り 藤まつり(蓮華寺池公園)

4月下旬からGWにかけて開催される藤枝市最大のイベント。総延長500mの藤棚が来園者をお迎えます。

- 4月下旬～5月上旬



全国屈指の花火生産地 藤枝花火大会

8月7日の「花火の日」に蓮華寺池公園で行われる花火大会。サッカーボールやフジの花をイメージした創作花火も打ち上げられるなど、藤枝伝統の花火が夜空を彩ります。

- 毎年8月7日



滝ノ谷不動峡 もみじまつり

滝ノ谷川の支流にある清流が岩間をくねりながら流れていく峡谷は、木々が色づき紅葉の名所となります。水車とともに秋の山里を美しく演出します。

- 11月下旬
- 📍 藤枝市瀬戸ノ谷



蓮華寺池公園 イルミネーション

市民の憩いの場である蓮華寺池公園を幻想的な光が包むイルミネーション。池や樹木のライトアップは、寒さを忘れ見入ってしまうほどの美しさです。

- 11月下旬頃～、冬期限定

第6次藤枝市総合計画【後期計画】

Fujieda City Comprehensive for 2030



“幸せになるまち”藤枝づくり ～まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍～

医療体制の充実・強化

安定した地域医療体制づくり

誰もがいつでも住み慣れた地域で身近に適切な医療を受けられるよう、総合診療体制の構築と病診連携の更なる体制強化、近隣市町の医療機関との広域連携を強化し、安定した地域医療体制を構築します。



市民の命と
安全・安心を守る



JR藤枝駅前繁華街特別警戒活動

防犯対策の推進

多様な連携による見守りの推進

地域全体が一体となって犯罪のないまちづくりに取り組むため、市、警察、市民、自治体・企業等の多様な主体が連携した市民総ぐるみの見守り活動を推進します。

高齢者支援と社会参画の推進

認知症とともに生きる共創のまちづくりの推進

誰もが安心して認知症とともに生きることができるよう、一人一人が個性と能力を発揮して、新たな発想や取り組み、仕組みを創出する“共創”により、医療・福祉に加え、教育や産業、地域活動など、暮らしに関わるさまざまな分野において、多様な世代が認知症について学び合う機会の創出や認知症の理解促進等を図ります。



子育て支援の充実

子育て環境の充実

子育て中の親の不安を軽減し、地域で安心して子育てができる環境をつくるため、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供、子育て情報の発信、多様な世代との交流の場づくりなど、さまざまな手法により子育て環境の充実を図ります。



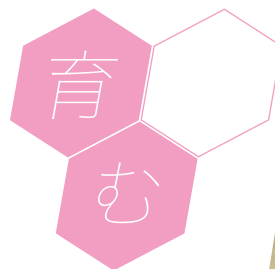
市
民
の
健
康
で
暮
ら
し
を
豊
か
な
実
現



安心な交通基盤づくり

地域をつなぐ交通インフラの充実

市民の日常生活における交通手段を確保するため、地域内での移動サービスの確立や路線バスの効率的な運行、乗合タクシーなどの活用、交通インフラの円滑な接続などにより、交通体系の充実を図ります。



こ
ど
も
が
健
や
か
に
学
び
、
育
つ



学校教育の充実

小中一貫教育と幼保こ小連携の推進

義務教育9年間を通して、共通した理念のもとでこどもの健やかな成長を支援するため、系統的な指導計画を編成・実践する「縦の小中一貫教育」と、家庭・地域・学校などが連携・協働する「横の小中一貫教育」を通して、中学入学に対する不安の解消や社会性・学力の向上を目指します。また、幼児期から小学校への架け橋期の充実を図るため、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校が連携した架け橋プログラムに取り組みます。

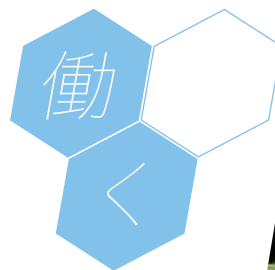
エコミックガーデニングの推進

地元企業の成長支援

地元企業の持続的な成長と経営安定化のため、相談支援拠点「エフドア」や産学官金の支援機関との連携を強化するとともに、市内企業の生産性の向上、中小企業の事業承継対策および強靱化など、地元企業の成長を促す各種施策を展開します。



相談支援拠点「エフドア」



力強い地域産業を
育み、安心して
働ける



農林業の振興

オーガニックシティの推進

豊かな自然を守り、人と自然が共生するまちを創出するため、環境に配慮した持続可能な有機農業を地域ぐるみで推進するとともに、ブランド化に向けた取り組みも進めます。

文化の振興

文化を担い支える人材の育成

小中学校などと連携したアウトリーチ事業の推進により、子どもたちが上質な芸術に出会う機会を拡充するとともに、市民による企画運営の文化事業の推進とプロアーティストなどの若手芸術家などの活動支援を図り、文化を担い支える人づくりを進めます。



音楽家と学生の交流



魅力と活力、
持続力がある、
地域力がつながる



滞在型レコーディングスタジオ「Music inn Fujieda」

多彩な拠点づくり

新たな核となる交流拠点の形成

旧市街地エリアの総合的な再生や食と農アンテナエリアの形成などのまちづくりを推進するため、地域資源を最大限に生かし、多様な人々が暮らし回遊する環境づくりを進めます。

地球温暖化対策の推進

地球環境を守る暮らしとライフスタイルの実現

市民の暮らしや地域の活動における環境負荷を減らすため、「デコ活」や環境マネジメントの普及などを通じて、ライフスタイルや働き方、移動のあり方を見直し、地域資源を生かした持続可能な暮らしの実現に取り組みます。



豊かな自然環境と
資源を守り、環境と
次代につながる



資源循環の推進

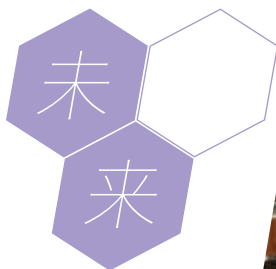
もったいない運動の推進、資源の有効利用

ごみの削減を図り、環境への負荷を軽減した独自の地域循環共生圏を確立するため、“もったいない”をキーワードに、6R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リターン・リカバー）を進め、限られた資源の有効活用や廃棄物の適正な収集・処理など、資源循環を推進します。

「選ばれるまち」づくりの推進

移住・定住の推進

地域の資源や本市の魅力ある施策などの強みを生かすとともに、移住者の視点から掘り起こされた潜在的なまちの魅力や移住の受け皿となる住環境、移住のサポート体制を充実させるとともに、ターゲットに向けた戦略的な情報発信を進め、定住人口の拡大と関係人口の創出を図ります。



夢と希望にあふれ、
未来につながる



広域連携の推進

広域都市交流の推進

市民の主体的な交流の促進と産業・文化・スポーツなどの振興を図るため、国内外のそれぞれの特徴に合わせた都市間交流などを推進し、新たな価値の創出につなげていきます。



藤枝の歴史



原始・古代

原始時代の藤枝〔約2万年前～1700年前〕

藤枝に人が住み始めたのは、今からおよそ2万年前の旧石器時代の終わり頃のことです。縄文時代には、海の幸、山の幸に恵まれた瀬戸川や大井川に面した丘陵上に人々が住みつきました。その代表的な遺跡が天ヶ谷遺跡です。また、弥生時代になると米作りが始まり、上藪田などの平地に大規模な集落や水田がつけられました。

古代の藤枝〔約1700年前～800年前〕

4・5世紀になると、畿内の大和政権を中心に国づくりが進み、市内でも4世紀の終わり頃に、時ヶ谷五鬼免1号墳・若王子12号墳などの古墳がつけられました。6世紀には、瀬戸や原などの丘陵に古墳群がつけられ、その数は約1500基にもなります。



若王子古墳群

奈良・平安時代になると、志太平野に志太郡と益頭郡が置かれました。二つの郡衙(郡に置かれた役所)はともに藤枝市内に置かれ、志太平野の政治・経済・文化の中心となっていました。

年表

6000年前〔縄文時代〕

旧石器時代の2万年前から、大井川や瀬戸川に面した丘陵上に人々が住みつき、広い範囲で交易が行われた。

2000年前〔弥生時代〕

稲作が始まる。収穫量が増え、生活が安定し、集落は丘陵上(現在の瀬戸・原・内瀬戸・谷稲葉)や平野部(上藪田・潮・郡)で営まれ、規模が拡大した。金属が使われ始めたのもこの頃。

1500年前〔古墳時代〕

4世紀ごろから古墳が造られ、最盛期の6～7世紀になると200～300基からなる大古墳群が造られた。原の荘館山にある前方後円墳や若王子古墳群は、有力な豪族の墓だと考えられている。

1000年前〔奈良・平安時代〕

法律・税制などの社会制度(律令制度)が確立し、志太平野には、志太郡と益頭郡が設けられる。「郡衙」と呼ばれる郡役所では、租・庸・調・雑徭などの税を徴収・管理する仕事が行われていた。

500年前〔戦国時代〕

花倉城、田中城をめぐり、戦国の武将たちが激しい戦いを繰り返す。藤枝の地は、今川氏から武田氏へ、その後、徳川氏へと支配者が変わった。

300年前〔江戸時代〕

藤枝は東海道の宿場に指定され、品川から22番目の宿場町として、また、田中城の城下町として発展した。大井川下流部では新田開発が盛んに行われ、農地が拡大した。幕末の開港以降は、お茶とみかんが貿易品として作られ、農業や商業が発達。

100年前〔明治～昭和初期〕

明治22年(1887) 町村制施行。国鉄藤枝停車場(現在のJR藤枝駅)が開設。

大正2年(1913) “軽便”の名で親しまれた藤相鉄道が開通し、藤枝は志太・榛原地区のお茶・みかんなどの特産品の集散地となった。

大正13年(1924) 志太中学校(現在の藤枝東高校)が創立。初代校長の錦織兵三郎さんが「蹴球(サッカー)」を校技として取り入れたことから、サッカーのまち藤枝の歴史が始まる。

昭和11年(1936) ベルリンオリンピックのサッカー競技に、松永行さんと笹野積次さんが出場。

藤枝市の誕生

昭和29年(1954)

1月 藤枝町と西益津村が合併し藤枝町となる
3月 藤枝町・青島町・葉梨村・高洲村・大洲村・稲葉村の2町4村が合併し、県内14番目の市制が施行

昭和33年(1958)

9月 認可を受け、市立志太病院を市立志太総合病院に

昭和38年(1963)

1月 藤枝東高校が全国高校サッカー選手権大会で初優勝

昭和39年(1964)〔市制10周年〕

10月 東海道新幹線が開通

昭和42年(1967)

1月 藤枝東高校が高校サッカー三冠(同一年度に高校総体・国体・選手権で優勝)
11月 市民グラウンドがオープン(県内初の芝生のサッカー専用グラウンドと野球場)

昭和43年(1968)

10月 メキシコオリンピックサッカー競技に富沢清司さん・山口芳忠さん・杉山隆一さんが出場し、銅メダルを獲得

昭和45年(1970)

7月 静岡鉄道駿遠線(軽便鉄道)全線廃止

昭和48年(1973)

8月 市庁舎が岡出山一丁目に移転 全国自治体職員サッカー選手権大会で藤枝市役所が初優勝

History of Fujieda

中世・近世

中世・近世の藤枝〔1185年～1867年〕

武家政権である鎌倉幕府が開かれると、京都と鎌倉とを結ぶ東海道はますます重要になりました。「藤枝」の名が紀行文などに出てくるのもこの頃からのことです。

室町時代には今川氏が一時、葉梨に館を構えたといわれ、また戦国時代には田中城を中心に武田氏、徳川氏の攻防戦の舞台ともなりました。

江戸時代に入ると、晩年を迎えた徳川家康が田中城に度々訪れ、城の周辺や志太平野一帯でしばしば鷹狩りを行いました。また、田中藩が志太平野の村々の大半を治め、藤枝宿・岡部宿は東海道五十三次の宿駅として上り下りの旅人でにぎわいました。



市指定文化財 田中城古図

近現代

近代・現代の藤枝〔1868年～現在〕

江戸時代に宿場町・城下町としてにぎわった藤枝は、明治時代になると、農業・商業を中心に発展しました。1889年に東海道線、さらに1913年に藤相鉄道が開通すると、お茶・しいたけ・みかんなどの特産物の集散地として、藤枝は重要な役割を担うようになりました。

藤枝市が誕生したのは、1954年のことです。1954年3月31日、藤枝町、青島町、葉梨村、稲葉村、大洲村、高洲村が合併し、藤枝市として市制を施行。高草山と大井川に挟まれた志太地域の都市として誕生しました。その後、国道1号や東名高速道路の開通によって、工業化や宅地化が急速に進み、県下の中堅都市としてさらに発展を続けています。2009年には、隣町の岡部町と合併し、人口も約14万人になりました。

現在、藤枝市は、フジとサッカーのまちとして、その名が全国に知られています。



昭和50年(1975)
7月 藤枝駅南口が完成

昭和52年(1977)
11月 初の名誉市民に山口森三・初代市長

昭和55年(1980)
10月 志太郡衙跡が国指定史跡となる

昭和59年(1984)【市制20周年】
11月 オーストラリア・ペンリス市と姉妹都市提携

昭和62年(1987)
11月 郷土博物館が開館

平成3年(1992)
6月 日本一の藤の里づくり事業がスタート

平成6年(1994)
3月 第1回藤の里ふじえだマラソン大会を開催
第1回全国PK選手権大会を開催

平成9年(1998)
7月 名波浩さん(当時:ジュビロ磐田)にスポーツ栄誉顕彰(第1号)を授与

平成14年(2002)
3月 藤枝総合運動公園が完成

平成15年(2003)
9月 国民体育大会「NEW!!わかふじ国体」夏季大会のサッカー競技(成年男子)を市内で開催
10月 同秋季大会の剣道競技・ライフル射撃競技を市内で開催

平成16年(2004)【市制施行50周年】
8月 アテネオリンピックの女子ソフトボール競技に佐藤由希さんが出場し、銅メダル獲得に貢献

平成17年(2005)
8月 静岡工業高校(当時)が夏の甲子園大会に初出場

平成18年(2006)
8月 藤枝順心高校が高校女子サッカー選手権大会で初優勝

平成20年(2008)
1月 第1回リパティ駅伝開催

平成21年(2009)
1月 藤枝市と岡部町が合併

平成24年(2012)
9月 新東名高速道路が開通。藤枝岡部インターチェンジ供用開始

平成26年(2014)【市制施行60周年】
4月 藤枝総合運動公園に野球場がオープン

平成29年(2017)
3月 「世界一長い花の列」ギネス世界記録®認定

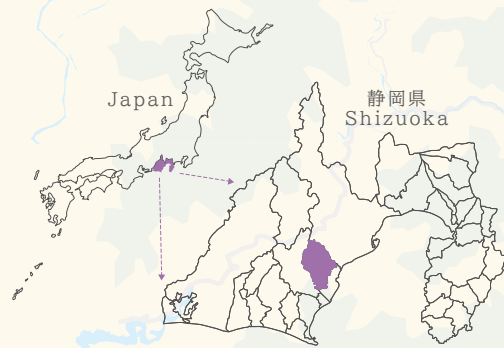
平成30年(2018)
4月 藤枝市初となる市街地再開発事業で駅北口に「FUJIEDA mikine(フジエダミキネ)」がオープン
7月 長谷部誠さんに藤枝市民栄誉賞を授与

令和2年(2020)
6月 「日本初『旅ブーム』を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅」が日本遺産に認定

令和3年(2021)
8月 東京2020パラリンピックで佐藤友祈さんが陸上男子400m、1500mで金メダルを獲得
9月 佐藤友祈さんに藤枝市民栄誉賞を授与

令和4年(2022)
11月 藤枝MYFC J2昇格決定

令和6年(2024)
【市制施行70周年・サッカーのまち100周年】
1月 藤枝総合運動公園サッカー場に完成したバックスタンドをお披露目
7月 特設サッカーミュージアムが完成



藤枝市について

藤枝市は、静岡県のほぼ中央に位置し、北は南アルプスを望む赤石山系の森林地帯から、南は大井川にまで広がります。藤枝市を一言で表すと「ほどよく、都会。ほどよく、田舎。」コンパクトシティを目指す中心市街地の賑わいと自然豊かな中山間地域が調和する魅力あふれる藤枝を紹介します。

市の木 「松」マツ



市の鳥 「鶯」ウグイス



市の花 「藤」フジ



市章



市の花である藤の花をデザイン化。高潔な藤の花の品格を手本に、永遠に汚れない清潔な市としての躍進と発展を願い制定されました。

市民憲章

わたくたちは藤枝市民であることに誇りをもち、健康と安全を増進し、教育と福祉の充実に努め、文化や産業を向上させて、限りない発展と平和を築くようこの憲章を定めます。

- 一、恵まれた自然を大切に、美しいまちをつくりましょう。
- 一、丈夫なからだをつくり、活力あるまちをつくりましょう。
- 一、豊かなこころを育て、明るいまちをつくりましょう。
- 一、温かい家庭をきずぎ、住みよいまちをつくりましょう。
- 一、仕事にはげみ助けあい、伸びゆくまちをつくりましょう。



▶人口 (推計人口、令和8年2月末日現在)

138,443人 [男性] 67,600人 [女性] 70,843人

▶世帯数

62,144世帯
(令和8年2月末日現在)

▶面積

194.06km²

▶人口密度

713.4人/km²

▶工業事業所数

299事業所
従業者数4人以上の事業所
(令和3年6月1日経済センサス)

▶店舗数

1,166店
飲食店を除く
(令和3年6月1日経済センサス)

▶農家数

2,137戸
(令和2年農林業センサス)

▶位置 北緯34度52分3秒 東経138度15分28秒 (地点:市役所)

▶広がり 東西16km 南北22km

▶標高 22.65m (地点:市役所)

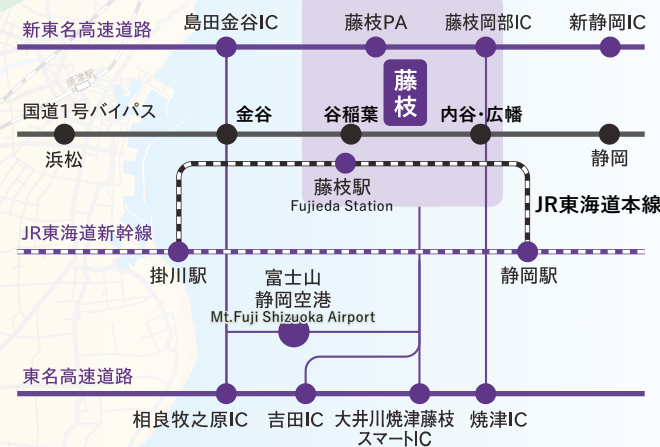
▶平均気温

16.7℃

▶藤枝駅1日平均乗車人数

10,195人 (令和6年度)

交通アクセス



藤枝市役所までの所要時間

- 富士山静岡空港から車で30分
- 新東名高速道路 藤枝岡部ICから車で15分
- 東名高速道路大井川焼津藤枝スマートICから車で15分、焼津ICから車で15分
- JR掛川駅から藤枝駅まで25分、静岡駅から藤枝駅まで20分、JR藤枝駅からバスで7分

国内交流 国際交流



姉妹都市提携 韓国・楊州市

ソウル



スポーツ・文化交流都市提携
福岡県福岡市



親善友好都市提携 石川県白山市



友好都市提携 北海道恵庭市



藤枝市



友好都市提携 埼玉県深谷市

友好都市提携 沖縄県宮古島市



ゆかりの郷提携 岐阜県恵那市



オーストラリア



姉妹都市提携
オーストラリア・ベンリス市

シドニー



議会友好都市 台湾・台南市



藤枝市長

北村正平

藤の花言葉「歓迎」。
藤枝市は、訪れるすべての方々をいつでも心より歓迎しています。自然豊かな景観と、香り高い藤枝茶、そして歴史と文化が息づくまち。市民一人ひとりの温かなおもてなしの心が、ここにはあります。季節ごとに表情を変える自然と、笑顔あふれる人々とのふれあいが、きっと皆様の心を癒してくれることでしょう。何度でも訪れたいなるまち、藤枝へ。皆様のお越しを、いつでもお待ちしております。



歓迎します。



サッカーと、^{とき}時間を刻む。



令和8年(2026年)発行

発行: 藤枝市

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1丁目11番1号

TEL054-643-3111 FAX054-643-3604